

第14回 大阪 水・環境ソリューション機構 運営会議  
議事要旨

日 時：平成30年4月26日（木）10時30分から12時00分

場 所：大阪市役所 屋上階会議室

出席者：田中委員長（大阪市副市長）、薬師寺代理委員（公益社団法人関西経済連合会 産業部 参与）、吉村代理委員（大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当課長）、永井委員（大阪市建設局長）、河谷委員（大阪市水道局長）、北辻委員（大阪市環境局長）、北尾代理委員（大阪府商工労働部成長産業振興室長）、稲垣代理委員（大阪市経済戦略局 理事）、稲垣代理オブザーバー（大阪府都市整備部下水道室長）、西野オブザーバー（独立行政法人国際協力機構 関西国際センター所長）

事務局：坂本事務局長（（一財）都市技術センター常務理事）

山口事務局次長（（一財）都市技術センター 事業部下水道課主幹）

白井事務局員（（一財）都市技術センター 事業部下水道課）

議事要旨：

① 現状報告

- ・事務局および各構成団体から活動報告（これまでの経過及び平成30年度の予定）が行われた。

② 議案の審議（第14回 大阪 水・環境ソリューション機構運営会議 議案書）

- ・第1号議案において、会計に永井大阪市建設局長（留任）、監事に河谷大阪市水道局長（留任）及び北辻大阪市環境局長（留任）、幹事長に藁田大阪市建設局水環境担当部長（新任）が指名された。
- ・第2号議案から第4号議案において、平成30年度の事業計画案、収支予算案、機構事務局運営費用協定書案、機構事務局運営業務協定書案が全会一致で承認された。

③意見等

- ・海外での水インフラビジネスの案件化には一般的には相当の時間がかかるが、JICA研修や草の根技術協力事業等のスキームを通じた大阪市を中心とした途上国の人材育成などの粘り強い活動を評価する。
- ・本機構の構成団体の活動は近年活発化しており、様々な水環境分野のプロジェクトが動いている。それぞれが民間企業の受注に至るまでのどのステップにいるかといった最新の状況について、タイミングを逸することなく各構成団体と情報共有することが重要である。
- ・本機構が経済団体と緊密に連携し、多くの中小企業が海外の水環境ビジネスに参入しやすい環境を整えていく取組みを続けることが重要である。

以上